

## 運動会に向けて

【内容】運動会に向けての合奏やダンスの練習

【使用アプリ】ロイロノート、Classroom

【事例1】合奏練習

合奏は例年1学期から練習を始めますが、今年はコロナウイルス感染拡大のため2学期からの練習となりました。短い期間で演奏の完成度を上げるために、教師が模範演奏を録画し、ロイロノートで送信しました。ロイロノートは動画の再生速度を自由に変更することができるので、児童は指の動きを見たり音を聴いたりしながら自分のペースで練習し、短時間で旋律を覚えて演奏できるようになりました。また、週末にはChromebookを持ち帰り、自宅で映像を見たり聴いたりして自主練習に励む児童もいました。

練習用動画は、各パート別に作成しました。



【事例2】ダンスの練習

夏休み期間中に模範映像を録画し、Classroomで全校児童に送信しました。児童一人一人がダンスの動きを覚えた状態で2学期がスタートしたので、全体練習では細かな動きや立ち位置の確認を中心に行いました。また、休み時間にもChromebookを使って自主練習する様子も見られました。動画の活用は、練習時間の短縮に大きな効果があると思います。



【終わりに】

今回初めてICTを取り入れた演奏練習をしました。動画を使った練習は、正しいリズムや指使いを覚えるだけでなく、教師がいない教室や自宅でも練習できることが利点だと感じました。今後は音楽会に向けての練習も本格化していくので、今回のようにロイロノートを活用した演奏練習を行ってきたいと考えています。

☆教育委員会主幹講師☆ 今回は体育や音楽の学習における動画による個別学習の事例です。合奏練習の初期段階では全員一緒に学ぶより1人1台端末で動画を視聴する個別学習は、自分の技術の習得具合に合わせて学ぶことができ、とても有効です。また、ダンスでは動きを覚える方法の一つに、繰り返し一通り反復練習をする方法があります。完成度は気にせず、途切れずに最後まで動きを通す必要がありますが、そんな時、スピードはゆっくりでも大丈夫です。映像のスピードを落とすことで、1度通すことができれば、脳の記憶を正確に引き出すことができるようになります。反復すること、スピードを調節できること、こういった点でICTの活用は大きな効果を生むことができます。ロイロノート等を活用し、動画をChromebookに入れることで繰り返し視聴できるようになっている四国中央市のICT環境を有効活用し、体育や音楽、またはその他の教科や学校行事において、今後も個に応じた学びの実現をお願いします。